

7-1	
報告テーマ	朝のカテキンうがいの徹底で感染症ゼロへ
法人名・事業所名	社福) 白十字会 特別養護老人ホーム 白十字ホーム
報告者	鈴木沙亜也(介護職員)、高橋英子(介護職員)

電話	042-392-1375	FAX	042-392-1375
事業所紹介	「トトロの森」のモデルとなった東京都東村山市の八国山の麓に建つ定員170名の従来型特養です。併設の白十字病院、デイサービス、老健、小規模多機能と連携し地域に開かれた施設として包括的なサービスを努めています。利用者の方が「安心、いきいき、心豊か」に生活できるような支援を目指しています。		

(はじめに)

当施設ではカテキンでの取り組み(感染症予防・褥瘡対策・白癬菌対策)を10年前より行っています。昨年10月に行われた定例の嚥下障害検討委員会で冬場での感染症予防の検討が行われました。①全介助方への口腔ケアは実施されているが、うがいができる方・認知症の方で歩き回る方へのうがいはできているか。歩き回る方が感染症になると拡大の恐れが高まる②学習会等で確認した「朝起きた時の口の中はもの凄く汚い」しかし、起床時の口腔ケアは徹底されてない。この事に取り組むことにより、冬場の感染症予防になる事を期待し実施する事にしました。

《取り組みフローの特徴》

利用者数32名、介護度4.3、経管栄養の方が常時10名前後

《実施期間》平成30年11月1日から現在継続中

《うがいができる方32名中11名を対象に実施》

①起きがけ毎朝、口の中にカテキンを含み、うがいを行い雑菌を吐き出す。

②うがいの仕方の指導を歯科医より指導を受ける。

11名の概要

介護度3…3人 介護度4…4人 介護度5…4人

認知症日常生活自立度 III a…5人 III b…5人 IV…1人

歩き回ることが出来る方 6人

《実施にあたり》

- ・うがいの対象者全員が認知症であり、認知症も進んでいる方々です。手洗いの場所まで行っていただくのもなかなか難しい方もいます。また「うがいをしてください。」と言っても、その意味が分からずキョトン。そこで、職員も一緒にうがいを何度もしました。それを見て「アーうがいね。」とやっとのことでうがいをして頂くこの繰り返しでした。また、動こうとしない方に利用者同士で「行くわよ！」と声を掛け合ってもらいました。また、うがいコップが黄色で毎日行う事で黄色いコップをみると「あーうがいね。」と習慣化に繋がりました。認知症の方それぞれに対応した取り組みが出来たからこそ、継続に繋がったといえます。

《結果》

- ・11月から3月の期間において感染症の発症はゼロに抑えることが出来ました。4月に入りショートステイの方お1人が風邪症状あり。その後、3人の方が風邪症状を発症しました。しかし、長びくこともなく重症化することもなく抑えることが出来ました。
- ・現在起床時のうがいは、洗面介助の一つとして定着しています。カテキンが入った黄色いコップを渡せば、自然にうがいをして頂けるようになって来ました。

《考察》

- ・高齢者が風邪を引くと言うことは、命の問題にもなりかねません。今後も、カテキンでのうがいの重要性を発信し冬場ということだけでなく年間を通して実施を継続して感染症ゼロを実践していきたいと思えます。

※本件の掲載・発表にあたりご本人(家族)に口頭にて確認をし、本件以外では使用しない事、それにより不利益を被る事はないことを説明し、回答を持って同意を得た事とした。